

「 製 図 」	単位数	2 単位
	学科・学年	機械科・1 学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	1 製図に関する日本工業規格及び知識と技術を習得する。 2 製作図、設計図などを正しく読む力を身に付ける。 3 図面を構想し、作成する能力と態度を身に付ける。
使用教科書・副教材等	機械製図（実教出版）、基礎製図練習ノート（実教出版）

2 学習計画及び評価方法等

（1）学習計画等

学期	学 習 内 容	月	学 習 の ね ら い	考 査 範 囲
1 学期	第 1 章 製図の基礎 (1) 機械製図と規格 (2) 製図用具とその使い方 (3) 図面に用いる文字と線	4	・製作図の内容を正しく伝えるために必要な規格について理解する。 ・製図用具の使い方に慣れるとともに、フリーハンドによる製図能力を養う。	期末
		5		
		6		
		7		
2 学期	(4) 基礎的な図形投影図のかき方 (5) 立体的な図示法・展開図	8	・図面に用いる文字と線が書けるようにする。 ・正投影法による図示法を理解し、正面図、平面図、右側面図が正しく書けるようにする。 ・図面の様式を知り、いろいろな図形の表し方を身につける。	期末
		9		
		10		
	第 2 章 製作図 (1) 製作図のあらまし	11		
		12		
3 学期	(2) 図形の表し方・寸法記入 (3) 寸法公差	1	・基本的な寸法記入の方法について理解する。 ・寸法公差の表示方法を理解し、その書き方を身につける。	学年末
		2		
		3		

（2）評価の観点及び内容

関心・意欲・態度	・製図に関する諸課題について関心を持ち、その改善・向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。
思考・判断・表現	・製図に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、技術者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。
技 能	・製図に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、安全や環境に配慮し、ものづくりを合理的に計画し、その技術を適切に活用している。
知 識 ・ 理 解	・製図に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、現代社会における工業の意義や役割を理解している。
・成績評価は、定期試験の結果と授業中の態度および図面・ノートの提出等により総合的に評価する。 ・学年末の成績は、第 1・2・3 学期の評価をもとに総合的に判断して評価する。	

3 確かな学力を身に付けるためのアドバイス

・授業に必要な教科書・製図用具類の忘れ物をしないこと、図面や課題は提出期日をきちんと守ることが大切です。 ・練習問題や課題の製図に学習内容を確認しながら取り組むことを繰り返すことで、製図技術や技能が着実に身に付きます。 ・予習復習はもちろんですが、他の科目の学習内容と関連づけて学習することも大切です。
